

脂肪乳剤適正使用に対する NST 薬剤師の介入効果の検討に関する研究

1. 研究の対象

2015年4月～2016年6月および2021年4月～2022年6月に当院で脂肪乳剤の投与を受けられた方

2. 研究目的・方法

脂肪乳剤はエネルギーや必須脂肪酸の供給、糖や水分負荷を減らす役割があり、静脈への点滴を用いて栄養を補充していく上で重要な薬剤です。脂肪乳剤は投与速度が早い場合、エネルギーへの変換効率の低下や免疫機能の低下を起こすといった問題点が指摘されており、薬剤師として脂肪乳剤の適正使用への関わりはとても重要になります。以前、当院での脂肪乳剤使用状況を調査したところ、投与速度が速く使用されている割合が高く、適正使用が徹底されていない現状を日本静脈経腸栄養学会にて報告しました。その後、栄養サポートチーム(NST)薬剤師として薬剤部や病院内に脂肪乳剤の重要性や投与速度について情報提供を行い、適正使用を図ってきました。

本研究では脂肪乳剤を投与していた患者さんの過去の情報を用いて、NST 薬剤師の介入前後での脂肪乳剤の体重当たりの投与速度に対して比較検討を行います。脂肪乳剤の適正使用状況を検討することで、NST 薬剤師の介入効果を明らかにし、現状の把握および今後の検討課題を明らかにしていくことを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテによる情報：

患者背景：性別、年齢、体重、NST 介入の有無、脂肪乳剤の投与速度 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

研究責任者：磐田市立総合病院 薬剤部 吉見允貴

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

電話：0538-38-5000